【授業科目】国際関係論　　International relations theory

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
岩崎 祐子	１年次 後　期	選　択	1	15	講　義			可

授業概要 （内容と進め方） 及び課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業概要／この授業では、揺れ動く国際関係、国際政治・経済情勢の現状について，注目すべき国々やトピックスに焦点を当てて学修する。また、現実の政治経済を理解するために、新聞記事やWEBサイトを取り上げて、ニュースを学修する。オンデマンド授業で実施する。 課題に対するフィードバック方法／提出された課題について、授業時に全体の総評コメントを行う。
授業の 位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー⑤「将来に向け臨床検査を主体的に学び、臨床検査の専門職としてのキャリアを伸ばせる能力を持つことができる。」の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達 すべき目標）	①国際政治・経済情勢について理解ができる。 ②関心のあるテーマを見つけ、関連ある資料等の情報収集ができる。 ③自分の感じたこと、考えたことを表現することができる。
時間外学習に必要な学修内容および学習上の助言	事前学習：指定した関連Webサイト、資料を事前に読んでおく（週2回、各60分）。 事後学習：講義で学んだことの振り返りを行う。各自で興味のある新聞ニュースについて考える（週2回、各60分）。 さらに学修を深めたい場合には、資料・参考書等を紹介するので、教員まで問い合わせ願いたい。
	※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習1時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	第１回　ガイダンス 第２回　今日の国際関係―ナショナリズムとグローバル化 第３回　貿易とグローバル化 第４回　貧困と開発援助，人の移動と難民 第５回　内戦とテロリズム 第６回　国境を越える環境問題と地球温暖化 第７回　人権規範の広がり 第８回　トピックス、まとめ 全て岩崎
評価方法 評価基準	授業後に提出する小レポート 50%、定期試験 50%
教科書	なし　　参考書等：多湖淳「国際関係論」勁草書房、2024年 草野・小川・藤田編著「国際関係論入門」ミネルヴァ書房、2023年
学生への メッセージ	この授業を通して国際政治経済ニュースに関心をもってもらいたい。 図書館に参考図書が揃っているので、学修の参考にされたい。